

# 2024年問題 物流危機への提言

## 長距離フェリーを利用したモーダルシフトの意義と活用事例

観光・ビジネスなどで、年間200万人以上にご利用いただいている長距離フェリー。

実は、長距離トラック輸送の1割以上(九州発着では3割)に相当する、年間120万台以上に利用戴いています。

2024年問題を半年後に控え、改めて、長距離トラックの輸送実態や活用意義をご紹介しますとともに、ご利用戴いている荷主・物流事業者の方々から、経験談などを披露いただきます。



### プログラム

13:30 オープニング

13:40 基調講演

「長距離フェリー活用の意義と可能性」

活用実績、ドライバーの輸送力確保や

労働環境改善などの効果、課題と実態

復建調査設計株式会社/流通経済大学客員講師 加藤 博敏 様

14:00 利用事例ご紹介

「高品質が求められる半導体製造装置輸送において

長距離フェリーを利用した輸送力確保」

東京エレクトロンBP株式会社 物流戦略企画担当 ディレクター 村富 真治 様

「食品物流における長距離フェリーを利用した

安定した輸送サービス」

F-LINE株式会社 南関東支店 マルチモーダルサービスセンター長 棚村 隆蔵 様

「物流2社(佐川急便・日本郵便)の長距離フェリーを活用した

共同輸送とモーダルシフトの実現」

佐川急便株式会社 輸送ネットワーク部 部長 西井 茂 様

「モーダルシフトによる長距離フェリーを利用した安定供給」

株式会社ランテック 常務取締役 原 弘規 様

15:00 パネルディスカッション

「長距離フェリーを活用したモーダルシフト実現までの課題と調整-成功へのコツ・工夫とは」

コーディネーター

敬愛大学 経済学部教授 根本 敏則 先生

パネラー

東京エレクトロンBP株式会社 物流戦略企画担当 ディレクター 村富 真治 様

F-LINE株式会社 南関東支店 マルチモーダルサービスセンター長 棚村 隆蔵 様

佐川急便株式会社 輸送ネットワーク部 部長 西井 茂 様

株式会社ランテック 常務取締役 原 弘規 様

一般社団法人日本長距離フェリー協会 会長 尾本 直俊

15:55 クロージング

参加形式 オフライン参加/オンライン参加(Zoom)

定員数 現地参加定員150名、オンライン400名

参加方法 下記QRを読み込みオフライン参加またはオンライン参加を選択いただき申込ください。

申込締切は10/10(火)正午まででございます。(オンラインは当日までお申込みが可能です)

URL: <https://entry.smtkg.jp/public/seminar/view/1677>

お申し込みの際にいただいた情報は、本シンポジウムの運営の他、協会と会員8船社およびその物流子会社からの情報提供に使われて戴く場合があります。

※システムメンテナンスのため、下記期間はお申し込みができません。

ご迷惑をおかけいたしますが、予めご了承ください。2023年9月30日(土)AM 0:00 ~ 同日 AM 9:00

参加費無料



開催日時 2023年10月11日(水) 13:30~16:00(受付開始13:00)

開催場所 海運ビル 2階ホール(東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル)



○電車でお越しの場合

東京メトロ 半蔵門線・有楽町線・南北線「永田町」4、5番出口より徒歩1分

○お車でお越しの場合

営業時間:24時間営業

基本料金:0:00~24:00 20分 440円

最大料金:駐車後 24時間最大 2,600円

乗入制限:長さ5メートル/幅2メートル/高さ2.1メートル・全重量4トン

規 模:28台(海運ビル地下1・2階)

※満車の場合は近隣の駐車場をご利用ください

※管理はタイムズ24(株)が行っております。



主 催 一般社団法人日本長距離フェリー協会

後 援 国土交通省、一般社団法人日本物流団体連合会

【お問い合わせはこちら】 日本長距離フェリー協会シンポジウム運営事務局

E-mail: [ferry.event@newsbase.co.jp](mailto:ferry.event@newsbase.co.jp)

※プレス取材のお申込みは、

事前に左記の事務局までご連絡ください。



エコシップマーク